

東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	未来に続く健康課題の発展に向けて
作成者（著者）	臼井, 雅美
公開者	FD委員会 健康科学ジャーナル編集会(東邦大学健康科学部)
発行日	2024.03.31
ISSN	24343838
掲載情報	東邦大学健康科学ジャーナル. 7. p.1 1.
資料種別	学術雑誌論文
内容記述	巻頭言
著者版フラグ	publisher
メタデータのURL	https://mylibrary.toho.u.ac.jp/webopac/TD28227624

未来に続く健康課題の発展に向けて

学校法人東邦大学健康科学部
学部長 白井 雅美

本年1月1日夕刻、石川県能登半島において震度7を観測した大地震が発生し、多大なる被害をもたらしました。地震や津波によって多くの方々が亡くなり、怪我をし、家などの倒壊により、今も苦難や不安に直面していることと心よりお察し申し上げます。お亡くなりました方とご家族にお悔やみを申し上げますと共に、被災された方々にお見舞い申し上げます。

さて、健康科学ジャーナルは「健康を科学する」をコンセプトに、今回で7巻目を発刊することができました。第7巻は原著論文1件、総説2件、報告2件の掲載となっております。今号も「健康」に関して多岐にわたる内容となっております。

健康は、私たち人間が豊かな生活を送る上で最も重要な要素の一つです。昨年5月に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は5類に移行しましたが、2020年以降、世界中を震撼させた未曾有のCOVID-19パンデミックは、我々に健康の大切さを改めて認識させ、健康に対する意識を一層高める契機ともなりました。そして、COVID-19パンデミックを通して明らかになったように、健康は個人だけでなく社会全体の安定と発展に欠かせない要素であり、ポストコロナの現在でもその重要性はより一層高まっています。COVID-19パンデミックは一種の災害であるとも捉えられていますが、災害とは突然の自然災害や人為的な災害だけでなく、疫病や大流行などの健康上の危機も含まれます。COVID-19パンデミックは、世界中で急速に広がり、人々の生活や経済、社会的な関係に大きな影響を与えました。本年の能登半島地震も含め、このような危機的な状況から、いかに個人、そして社会の健康を守るのか、私たち看護職や医療職はその責務を果たすことが重要となります。

近年、健康に関する知識や技術は飛躍的に進歩しています。看護学においても新たな発見やアプローチが次々と創出され、私たちの健康を向上させるための手段が増えています。このような進展を日々の生活に取り入れることで、より充実した健康的な生活を送ることが可能となりますが、健康に関する課題は一朝一夕に解決できるものではありません。社会的な環境要因・影響なども含め、さまざまな要素が健康に影響を与えているため、個々人だけでなく社会全体での取り組みが必要です。

「健康科学ジャーナル」は、このような健康に関わる取り組みを支援し、情報を広く発信することで、健康増進・健康回復の一助となることを目指しています。私たちは、皆さまの健康と幸福の向上に向けて、最新の研究や知見をお届けするとともに、健康に関する意識を高め、より良い社会の実現に貢献していく所存です。

最後に、この健康科学ジャーナルの発行に携わった編集者、著者・寄稿者、そして読者の皆さまに心より感謝申し上げます。健康科学ジャーナルが、皆さまのご支援とご協力により、未来に向けてより良い健康・幸福への道のりを歩み、発展することを願っています。